



にしむら る か  
**西村 瑠佳**

総合研究大学院大学・遺伝学専攻 5年一貫制博士課程 1年次 (D1)

井ノ上研究室 人類遺伝研究室

大学院生からのメッセージ一覧は[こちら](#)▶



### Q 遺伝研を知ったきっかけは？

学部生の頃三島で開催された遺伝学会に参加した際に、偶然、遺伝研のゲストハウスに泊まったのがきっかけです。引率の先生に、大学院生として遺伝研の大学院に進学できると聞いて初めて大学院の存在を知りました。

### Q どうして遺伝研を選んだのですか？

他の多くの大学とは違って研究所が主体であるため、研究者としての素養を身につけるのに最適な環境だと感じたからです。例えば遺伝研では頻繁に外部から研究者を招いて英語でのセミナーを行っており、遺伝学に関連する様々な分野の研究内容を気軽に聞けるのは非常に良いなと思いました。それに加え、遺伝研は留学生が多いこともあり、英語でディスカッションする機会が多く、将来海外で研究をすることを考えたときに、英語力を向上させるのに良い環境だと感じています。

### Q 入試の思い出は？

他の大学の試験と大きく異なる形式に驚きました。試験問題は過去問を見てわかる通り特殊な問題なので、頭脳テストだと思って挑めばよかったのですが、面接では緊張している中で

「(筆記試験の答案を見ながら)この解答、矛盾してるけど?」とツッコミを受けて「もうダメだこりゃ」と思いました(笑)入試後自暴自棄になって沼津までミッション:インポッシブルの最新作を観に行ったのも良い思い出です。

### Q 井ノ上研ではどのような研究をしていますか？

現在は縄文人の歯髄から取られたDNAを使って縄文人に感染していたウイルスについて調べています。実は縄文人骨からDNAをとってくると、縄文人のゲノム以外にも縄文人に感染していたと考えられる細菌やウイルスのゲノムが含まれています。縄文人のDNA中にどんな微生物DNAが存在するのかを調べることによって、考古学的知見だけではわからない縄文人の病気や生活などを推定することができると考えられます。また、ウイルスゲノムは進化が早いことが知られていますので、縄文時代と現代のウイルスのゲノム配列を比べることによって、ウイルスの進化について何か考察できないかと考えています。

### Q なぜその研究をやると思ったのですか？

学部時代は合成生物学の研究室にいて、ひたすら大腸菌相手に実験を行っていたのですが、大学院に進学した際には解析

技術を習得したいと考えていました。解析の中でもゲノムデータを用いた網羅的な解析に興味があり、当初はヒトの疾患に関連した遺伝子を解析するのが面白そうだと思い、井ノ上研究室への進学を決意しました。しかし、入学した後、実際に何をテーマにするか考えあぐねていたところ、井ノ上先生から縄文人のゲノムデータがあるということをお聞きました。また、同じラボの研究員の方がウイルスの研究をやっていたこともあり、縄文人のゲノムデータを用いてウイルスについて研究することになりました。実際に研究を行なってみると、様々な情報がゲノムデータに含まれており、調べれば調べるほど興味深い内容だなと感じています。

### Q 学生生活はどうですか？

学部時代とは異なり、研究の進捗は自分の頑張り次第であるため、思うように進まない時は少し辛いと感じることもあります。が、素晴らしい研究環境のおかげでとても有意義な研究生活を送っています。三島は都会のように誘惑が少ない分、研究に没頭することができるのも良い点でしょう。また、入学前は、学生が少ない分、大学時代に比べて交流が少なくなりそうだと危惧していたのですが、学生間での集まりも頻繁に開催され、研究以外の面でも充実した生活が送れます。

### Q 遺伝研の英語教育で役立つことはなんですか？

科学者に必要とされる英語力を向上させられることではないでしょうか。授業が殆ど全て英語で開講されているので、英語で生物学や研究について理解する必要があるだけでなく、質問なども全て英語で行わなければならないので、自然と英語でディスカッションする能力が身につくように思います。また、[科学英語口頭演習I](#)の講義では英語での科学的なプレゼンテーションの仕方を一から教えてもらえるので非常におすすめです。

### Q 三島の暮らしはいかがですか？/三島のおすすめスポットはありますか？

休日の終バスが19時などと田舎で少々不便だなと感じることもなくはないのですが、慣れたら問題なくやっています(笑)。遺伝研の近くにはスーパーもありますし、○amazonなどを利用すれば生活に必要なものは全て揃います。また、横浜まで鈍行でも一時間半くらいで行けるので、都会が恋しいと感じたら日帰りで出かけることも可能です。また、三島は自然が豊なので自転車で街を回るだけでも心が満たされます。

### Q 休日はどのように過ごされていますか？

他の学生と出かけたり映画を観たりして過ごすことが多いです。留学生が多いこともあってか、平日は集中して、週末はしっかり息抜きをするという傾向が強いなと感じます。また、それ以外にも自分で趣味のバイオリンの練習をしたり、自転車で遠くまで出かけたりして、しっかりとリフレッシュして平日頑張れるように心がけています。

### Q 後輩へのアドバイスは？

もし遺伝研に興味があってもあるのであれば、体験入学などの機会に一度遺伝研を訪れるのが良いかと思います。体験入学なら興味のあるラボに滞在して、遺伝研での研究生活などを体感できるのでオススメです。また、その上で他の選択肢と比べて自分にとって最適であると感じる研究室や進学先を決めると良いのではないのでしょうか。もし遺伝研に進学すると決めたとであれば、過去問を一通り解き、面接の練習をして入試に備えると良いでしょう。

※2020年3月時点

### ■ 関連リンク

◇ SOKENDAI  
<https://www.soken.ac.jp>

◇ 過去の入試問題  
<https://www.nig.ac.jp/nig/ja/phd-program/admissions-top/admissions/general-admissions/past-exams>

◇ 科学表現演習/セミナー演習  
<https://www.nig.ac.jp/nig/ja/phd-program/courses-top/courses-2#seminar>

